



共通事項		特記なき限り下記による	
1. スラフが小梁上 2階レベル以下記による。但し詳細は断面図による。			
	HGL+970		HGL-280
	HGL+930		HGL-730
	HGL-1000		HGL-1080
	HGL-1280	2. 外部土間スラブ(ハイチ・プラス等)を示し、配筋図のS-7参照の事。	

特記事項  
 図面をA3サイズに縮小する場合の倍率は、下記の通り読み替えるものとする。  
 ・A1サイズの場合、1/2とする。  
 ・A2サイズの場合、7/10とする。

久留米市  
 都市建設部建築課

設計事務所(建築) 山本設計工房  
 一級建築士登録 第1-50052号 山本 茂明  
 設計協力事務所(構造・電気・機械)  
 リュウ設計(電気)・コガ企画サービス(機械)

工事  
 久留米共同福祉施設(共同ホール)解体工事  
 図面名称  
 1階伏図  
 縮尺  
 S=1/150  
 図面番号  
 S-02

基礎リスト																
符号	F1A	F1B	F1C	符号	F8A	符号	F2A	F2B	F2C	F2D	符号	F9B	符号	F3B	F3C	F3D
L(m)	1.400	1.700	2.650	L(m)	1.400	L(m)	1.400	1.700	2.650	3.100	L(m)	1.700	L(m)	1.700	2.650	3.100

基礎立上り柱リスト									
符号	cP1	cP2	cP3	cP4	cP5	cP6	cP7	cP8	cP9
断面									
主筋	20-D22	20-D22	20-D22	20-D22	20-D25	12-D22	12-D22	14-D22	20-D22
HOOP	□-D13@100	□-D13@100	□-D13@100	□-D13@100	□-D13@100	□-D13@100	□-D10@100	□-D10@100	□-D13@100
符号	cP11	cP12	cP13	cP14	cP15	cPA	cP16		
断面									
主筋	16-D22	8-D22	8-D16	8-D16	8-D16	8-D16	8-D16		
HOOP	□-D10@100	□-D10@100	□-D10@100	□-D10@100	□-D10@100	□-D10@100	□-D10@100		

共通事項 特記なき限り下記による

- 基礎配筋要領を下記に示す。
- 杭頭処理を下記に示す。
- 基礎立上り柱配筋要領を下記に示す。
- 基礎立上り柱の立上り高はS9～S10 本心-S19～S14 参照の事。但しコンクリート打設は1階スラブDSスラブ上端までとする。その部分の配筋は兼視する。
- 印は寄せ筋を示し、要領は下記に示す。

特記事項  
 図面をA3サイズに縮小する場合の倍率は、下記の通り読み替えるものとする。  
 ・A1サイズの場合、1/2とする。  
 ・A2サイズの場合、7/10とする。

基礎梁リスト		FG11	FG12	FG13	FG14	FG15	FG16						
符号		FG11	FG12	FG13	FG14	FG15	FG16						
位置		1端 中央 2端	2端 中央 3端	3端 中央 4端	外端部 中央 内端部	両端 中央	全断面						
断面													
h x D		400x1000	400x1000	400x1000	350x700	350x700	300x500						
上端筋		5-D22 3-D22 6-D22	6-D22 3-D22 7-D22	7-D22 5-D22 4-D22	7-D22 2-D22 4-D22	4-D22 2-D22	4-D19						
下端筋		5-D22 5-D22 3-D22	3-D22 4-D22 5-D22	4-D22 8-D22 3-D22	7-D22 3-D22 4-D22	4-D22 3-D22	4-D19						
S-T-P		□-D10@150	□-D10@150	□-D10@100	□-D10@150	□-D10@150	□-D10@200						
腹筋		4-D10	4-D10	4-D10	2-D10	2-D10							
符号		FB11	FB12	FB13	FB14 (FB14A)	FB15	FB16						
位置		B-D端 中央 C端	B-D端 中央 C端	全断面	両端 中央	両端 中央	全断面						
断面													
h x D		300x600	300x500	200x1440	300(350)x600	400x1000	200x1620						
上端筋		3-D19 2-D19 5-D19	3-D19 2-D19 4-D19	4-D19	3-D19 2-D19	5-D22 5-D22	4-D19						
下端筋		2-D19 4-D19 3-D19	2-D19 3-D19 2-D19	4-D19	2-D19 3-D19	5-D22 8-D22	4-D19						
S-T-P		□-D10@200	□-D10@200	□-D10@200	□-D10@200	□-D10@150	□-D10@200						
腹筋		2-D10		6-D10	2-D10	4-D10	6-D10						
符号		FG1	FG1A	FG2 (FG2B)	FG2A	FG3	FG4 (FG4A)						
位置		両端 中央	D端 中央 K端	両端 中央	K端 中央 L端	外端部 内端部	F-L端 G-K端						
断面													
h x D		400x700	400x700	400x700	400x700	300x700	500x700						
上端筋		6-D22 4-D22	6-D22 4-D22 7-D22	6-D22 4-D22	7-D22 4-D22 6-D22	5-D22 3-D22	7-D25 5-D25						
下端筋		6-D22 6-D22	6-D22 6-D22 7-D22	6-D22 4-D22	7-D22 4-D22 6-D22	5-D22 5-D22	7-D25 5-D25						
S-T-P		□-D13@100	□-D13@100	□-D13@100	□-D13@150	□-D13@200	□-D13@200						
腹筋		2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10						
符号		FG8 (FG8A)	FG9	FG10	FB1	FB2 (FB2A) [FB2B]	FB3						
位置		両端 中央	両端 中央	全断面	全断面	全断面	全断面						
断面													
h x D		300x700	500x700	400x1000	200x1600	200x1620 (1.580) [1.400]	200x1300						
上端筋		4-D22 3-D22	7-D25 5-D25	6-D22	4-D19	4-D19	4-D16						
下端筋		4-D22 3-D22	7-D25 5-D25	4-D22	4-D19	4-D19	4-D16						
S-T-P		□-D13@150 (□-D13@100)	□-D13@200	□-D13@100	□-D10@200	□-D10@200	□-D10@200						
腹筋		2-D10	2-D10	4-D10	6-D10	6-D10	6-D10						

共通事項 特記なき限り下記による

1. 巾止×筋はD10@1000以下とする。
2. 2段配筋の場合の補強筋を下記に示す。

3. FG3・FG4・FG4A 配筋要領

4. 梁貫通孔補強要領 (h ≤ D/3, 梁幅 ≤ 400)

適用範囲	孔周補強筋	配筋図
h ≤ 100	斜× 2-2-D13 縦 2-2-D13 横 無し S-T-P 無し	
100 < h ≤ 200	斜× 4-2-D13 縦 2-2-D13 横 2-2-D13 S-T-P 3-2-D13	

(a) スリッパが梁成の1/10の場合は補強不要  
(b) 貫通孔が2個以上あるときは、その中心間隔は、孔径の平均値の3倍以上とする。  
(c) 貫通孔の中心位置は、柱径が直交する梁(小梁)の面から孔の径の1.2倍以上離す。  
(d) 貫通孔の上下方向の位置は、梁成の中心付近とし、梁下縁から孔までの最小値dは下記による。

500 ≤ D < 700 d ≥ 175  
700 ≤ D < 900 d ≥ 200  
900 ≤ D d ≥ 250

(e) 梁幅が400を超える場合はスリッパ径が200を超える場合は個別者と打ち合せの事。  
6. 地盤は下記による。

7. 基礎梁補強要領の配筋

特記事項  
図面をA3サイズに縮小する場合の倍率は、下記の通り読み替えるものとする。  
・A1サイズの場合、1/2とする。  
・A2サイズの場合、7/10とする。